

伊賀市議会行政視察報告書

伊賀市議会議長 様

報告者 森中 秀哲

参加者名 釜井敏行議員、西田方計議員、宮崎栄樹議員、百上真奈議員

①

視察日時

令和5年
7月6日 15時～17時

視 察
先

島根県雲南市役所

視察事項

小規模多機能自治による住民主体のまちづくり

②

視察日時

7月7日
9時～11時30分

視察先

波多交流センター

視察事項

小規模多機能自治に関する地域の具体的取り組み

【視察の成果】

雲南市は2004年11月1日、伊賀市とまったく同じ日に6町村の合併により誕生した。合併当時、雲南市と伊賀市は、兵庫県朝来市、名張市と並んで、「小規模多機能自治」の先進市として取り組みを開始した。合併から約20年が経過したが、伊賀市では当初目指していた「地域・住民の自立」が目指したようには進んでいない。一方で、行政側も住民の自主的な活動を日常的に支援する体制が思うようにはとられていないように思える。

地域の超高齢化と人口減少の時代を迎え、このまま進んでいくのではなく、地域と行政の関係をつなぎなおすことが必要だと考え、同時期に取り組みを始めた雲南市で、20年経った今、当初目指したような活動ができているのか、課題が浮かび上がっているのであれば、どのようなものがあり、どう解決していこうとしているのかを知ることを目的に、雲南市役所および地域（波多コミュニティ協議会）で調査を行った。

【雲南市（政策企画部地域振興課）】

・地域自主組織の3本柱：防災、福祉、教育

・地域自主組織への市からの財政支援

①地域づくり活動等交付金（≒包括交付金）

人件費と事業費。管理料に入れると「管理する人」になってしまうため、人件費は指定管理料ではなく交付金に。常勤3人分目安。

②交流センター指定管理料

・市からの人的支援

地域づくり担当職員 6地域センターに10～20人

・交流センター長

60代が多い。Uターンの人が多い。定年延長の影響が大きく、課題。

・地域同士の学び合い・高め合いの場

地域自主組織取組事例共有会

・地域と行政・地域同士の協議の場

①雲南市地域自主組織連絡協議会

各旧町から2名の会長。月1回定例開催。市からも各部署

9.21

②各町地域自主組織連絡協議会

各旧町すべての自主組織会長等が出席。①のあと各総合センター（≡支所）で

③地域円卓会議

地域と「直接的に・横断的に・分野別に」協議。2カ月に1回程度

地域同士、地域と行政等が対等な立場で議論。結果を地域での取り組み・市の施策に反映。

～R4年地域円卓会議（防災）～

結果として、避難行動要支援者計画作成は

「支援希望者手上げ方式」→「地域申告方式」（地域で支援が必要な人の情報を整備）

・地域経営カレッジ（R1から）

地域担い手の育成確保

希望制。各地域自主組織から推薦・選出されたメンバー。6カ月。

検討テーマを設定し、方策案をまとめ地域に提出する。

・地域の担い手育成事業補助金

20万円×10組織を想定。担い手育成につながる取り組みであれば幅広く補助

〔波多コミュニティ協議会〕（自主組織）会長：木村守登さん

・地域づくりビジョン

重点課題：防災、買い物、交通、産業、交流

みんなで、前向きに、無理をせず、楽しんで

・防災

市役所並みの個人情報をも自分たちで収集。介護度やかかりつけ医情報。

防災訓練年1回。迎えに行っても集まる。

要支援者の安否確認（自治会ごと）、一時避難所への避難、さらに指定避難所への避難

・買い物

8年前に店がなくなった。交流センター内に店を作る。「はたマーケット」

センター職員が交代で店員。一日30人ほどが利用。800品目取り扱い。

大手スーパー並みの価格。月100万円の売り上げ。開業資金返済できている

・交通

地域内交通「たすけ愛号」。エリア内でセンターまでの無料送迎。

主に交流センター職員が運転

伊賀市の課題の解決に役立てられるよう、丹波篠山市の検討経緯、運用実態、現状の作成手順、作成フォーマット、ケアマネジャーのトレーニング方法や報酬、地域との協力体制などについて、別紙のとおり、情報を収集した。

（別紙）

1. 小規模多機能自治による住民主体のまちづくり

2. 波多コミュニティ協議会

3. 同 福祉事業

4. 同 伊賀市議会からの質問事項

費用	旅費：48080円	研修参加費：4000円	合計：52080円
----	-----------	-------------	-----------

41,080円
9,000円(1972-)

旅 程 明 細 書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会		氏名	森中 秀哲
用務名(目的・場所)	島根県雲南市「小規模多機能自治の課題」について				
	島根県雲南市役所、波多コミュニティ協議会				
用務従事期間 (時間)	従事 月日	7 月 6 日		従事 時間	15:00～17:00
		7 月 7 日			9:00～11:00
		月 日			～

出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小計	日当	宿泊料	夕食代	朝食代
				路程	運賃	急行料金					
7月6日				km	円	円	円	円	円	円	
	西大手	伊賀鉄道	伊賀上野	3.3	260		14,220				
	伊賀上野	JR	加茂(京都)	26.4							
	加茂(京都)	JR	新今宮	51.5							
	新今宮	JR	大阪	10.0							
	大阪	JR	新大阪	3.8	8,030						
	新大阪	JR	岡山	180.3		3,180					
	岡山	JR	宍道	205.0		2,750					
	宍道	JR	木次	21.1				1,500	6,900	1,700	
7月7日	出雲市	JR	岡山	220.7		2,950	14,360				900
	岡山	JR	新大阪	180.3		3,380					
	新大阪	JR	大阪	3.8	8,030						
	大阪	JR	天王寺	10.7							
	天王寺	JR	加茂(京都)	50.5							
	加茂(京都)	JR	伊賀上野	26.4				1,500			
計							円 28,580	円 3,000	円 6,900	円 1,700	円 900
							合計	41,080 円			

領収書等添付用紙

議員名

森中秀哲

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費・
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

項目ごとに領収書添付

- ・領収書等は情報公開に備えて、重ならないように添付すること。
- ・両面になっているものは、全面に糊付けせずに裏面が確認できるように添付すること。
- ・A4以上の大きさに貼り付けるのが適当でないものはそのまま添付すること。
- ・足りない場合は、裏面を利用せずに新しい用紙へ添付すること。

領収書

Receipt
領収年月日

2023.-6.11

金額

¥61,300(消費税等込み)

[クレジット扱い]

購入商品

JR乗車券類 JR tickets

(30024 20枚)
西日本旅客鉄道株式会社

伊賀上野駅

伊賀上野駅F1発行 40025-02

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

新大阪 → 岡山 3,180円

岡山 → 大田 2,750円

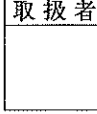
大田 → 岡山 2,950円

岡山 → 新大阪 3,380円

12,260円 × 5名分 = 61,300円

(森中議員
百上議員
宮崎議員
西田議員
釜井議員)

領収書等添付用紙	議員名	森中秀哲
調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)		

領 収 証		収 入 印 紙
森 中 様		
¥ 6,900-		
納付状		
令和 5 年 7 月 6 日		
島根県雲南市三刀屋町三刀屋20		
有限会社 上 代		
 ホテル上代 TEL(0854)45-5900 FAX(0854)45-2655	取扱者 	ラウンジ 遊 LOUNGE VU TEL(0854)45-2500
	取扱者	

伊賀市議会政務活動費明細書

伊賀市議会議長 様

報告者
議員名

森 中 秀 哲

支出項目

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけて下さい)

内 容

日付	明細	領収書等の 金額 (円)	按分率	金額 (円)
7/7	波多コミュニティ協議会 視察料	20,000	1/5	4,000
/				
/				
/				
/				
/				
/				
計				4,000 円

令和 5年 7月 7日

請 求 書

伊賀市議会 森中秀哲様

請求者

島根県雲南市掛合町波多459番地1

波多コミュニティ協議会

会長 木村 守登



請求額 ￥20,000円

但し 波多コミュニティ協議会視察料

(百上真奈、釜井敏行、宮崎栄樹、西田方計、森中秀哲の5名分)

【振込先】

口座振替申込			
下記口座に振り込み願います。			
振込先	ゆうちょ銀行	店名 五三八	店番 538
普通口座	[REDACTED]		
口座名義	ハタコミュニティキョウギカイ ダイヒョウシャ タワラヨシアキ		

令和 5年7月7日

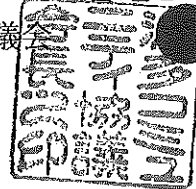
領 収 書

伊賀市議会 森中秀哲様

島根県雲南市掛合町波多459番地1

波多コミュニティ協議会

会長 木村 守登



金 ￥20,000円

但し 波多コミュニティ協議会視察料

(百上真奈、釜井敏行、宮崎栄樹、西田方計、森中秀哲の5名分)

伊賀市議会政務活動費明細書

伊賀市議会議長 様

報告者
議員名

森 中 秀 哲

支出項目

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけて下さい)

内 容

日付	明細	領収書等の 金額 (円)	按分率	金額 (円)
7/7	タクシー料金 宿泊地→波多交流センター→出雲市駅	35,000	1/5	7,000
/				
/				
/				
/				
/				
/				
計				7,000 円

議員名

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費 (該当項目に○をつ)

(該当項目に○をつけてください。)

領 収 書

殿中丞

印

紙

11

ること。

一 金	¥	万	千	百	十	元
	3	5	0	0	0	

但し タクシー料金

上記の金額正に領収致しました。

平成
令和

5 年 7 月 7 日

島根県雲南市三刀屋町

三葉タクシー有限会社

電話 木次 42-1055
三刀屋 45-2121
FAX 45-2162

小規模多機能自治による 住民主体のまちづくり

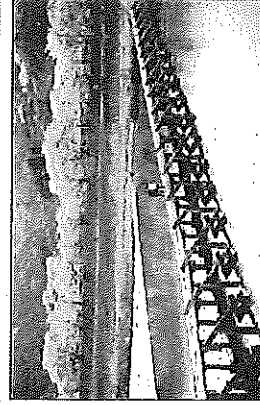
～雲南市の地域自主組織～

令和5年7月6日

島根県雲南市
(政策企画部地域振興課)



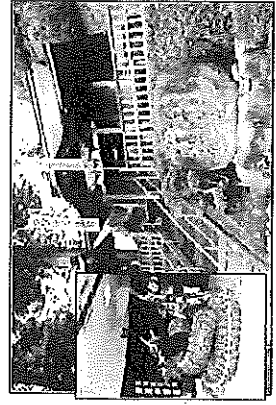
全国最多の39個の銅鐸が出土
(加茂岩倉遺跡・銅鐸は国宝)



【日本さくら名所】斐伊川堤防桜並木



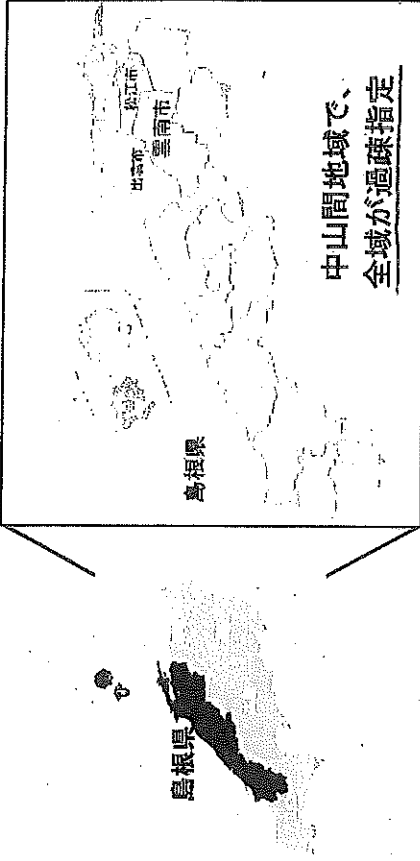
たたら製鉄の遺構：全国唯一の現存する高殿
(雲谷たたら高殿)



スサノオノミコト、クシイナダヒメが造ったとされる
「日本初之宮」須我神社・和歌発祥の地

雲南市の概要

- 平成16年11月1日、6町村で合併し、「雲南市」誕生。



中山間地域で、
全域が過疎指定

■ 面積	553.2km ²	(東京23区の約9割)
■ 人口	36,007人	(令和2年国勢調査)
■ 高齢化率	40.1%	(令和2年国勢調査)

概観

地域の特徴

3年ぶりの町政改正
改選月定例会

「研究」(新刊) p.64

地域自主組織の概要

福祉事業

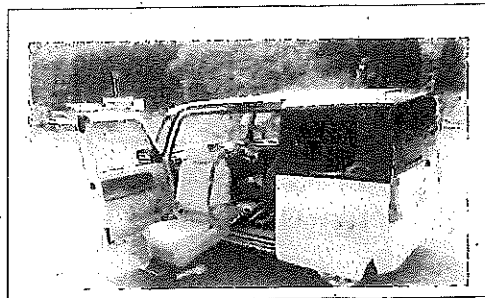
1. たすけ愛号の運行

地域内交通、無料で送迎

年間 1500 回の利用

波多マーケットの配達

※ 車内にて困りことなどの情報が得られる



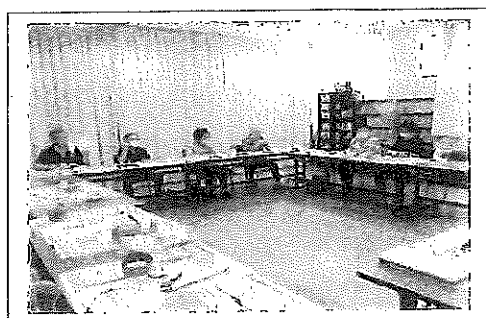
2. ほかほかわくわくサロン

月に 1 回開催

1 回の開催に 10 人から 15 人の参加

毎回ワクワクするような内容のことをする

手先を使い、考えた物づくりや身体を動かしたりして毎回楽しめます。



3. ほかわく体操

第 2 第 4 木曜日に開催

10 人前後の方が参加

※ 始めた頃から参加者が少なく改善するために、さんさん教室の前に行いました。



3. はたスポーツずむ

はたマーケットの隣の部屋に開設

家庭で使われなくなった健康器具をいただき設置

しました。イースポーツも楽しめ、お茶も楽しめる

ようにしてあります解説にあたり以前から親交のある

看護師や、作業療法士からアドバイスをもらいました。

また、季節ごとに波多の 20 代の女性の写真展も開催しています。「ズム時間」とし地元の方がしておられる

リンパマッサージや道の駅の駅長さんにうんなんPR

やマイナンバーカード申請サポート、町の保健室を

行っています。



伊賀市議会様からの質問事項

1, 波多地区での地域自治の仕組みと取り組んでいる事業

①スライドP12~

→ 同体あった。相模会館、長沼エセテ、波多一級国語(ほとりくんだ)

2, 設立(昭和57年)からの役員、住民の意識の変化

① S57~平成12年 自治会連合会の意識(要望団体)

※住民交流は、夏祭り、体育大会、盆踊り、秋祭り等

※趣味活動は、踊り、大正琴、習字、お花、写真.....

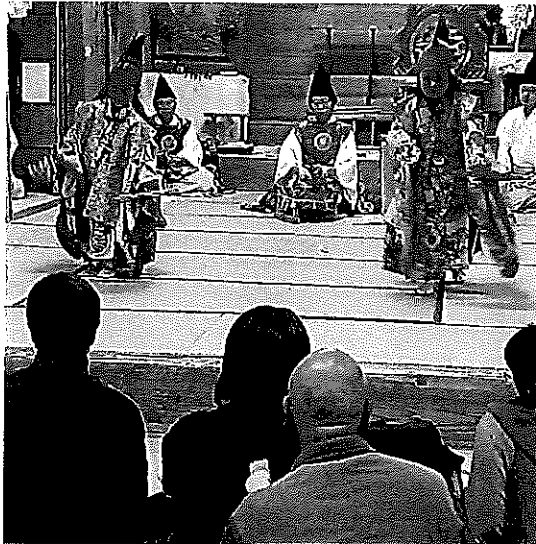
② 平成12年~平成22年 公民館活動と波多コミュニティ協議会との共同活動

住民意識の変化: あまり変化はないのではないか

③ 役員の意識の変化: 大きく変わった...

.....自ら考え行動するカタチに変化したと認識(個人差有り)

波多地区 → 波多地区へ



波多神社で行われる神楽

3, 他地区との研修・情報交換の場はあるのか。住民研修の場は?

① 研修の機会が多くあります(年10回程度)

② 情報交換の場:

- ・ 掛合地域自主組織連絡会(2カ月毎)
- ・ 雲南市地域自主組織連絡会議(月1回)
- ・ その他(会長会議・近隣組織との調整会議)